

令和の暮らしに壁は要らない。
壁や出入口が動く間仕切りシステム「自在区」を新発売。
1部屋→3区画、所要時間10分。

株式会社ユナイテッド(本社:東京都江戸川区、代表取締役:坂本恒太)は50年以上にわたるダンフスマの製造で培った経験と素材・技術を組み合わせ、間仕切りの軽量化を図るとともに、機能とデザインを見直し、「使い手自らが間仕切りを容易に動かせること」を実現した新商品「ZIZAIKU/自在区」を発売いたします。間取りは、かつてふすまなどで間として区画すると伸縮自在になったのです。



1部屋



2区画目



3区画目

■新しい間仕切りが求められている時代の背景

住宅、オフィスの間取りは、昭和のつづき間から平成にはLDK化、個室化が進みました。つまり、間取りは固定化されてしまいました。すでにプランされた間取りで買ったり、借りたりしています。これまでの常識では、壁と出入口は動かないので間取りは変えられません。一方、間取りを変えたいというニーズは高まっています。子供の成長に合わせて一つの部屋を二つに間仕切ったり、むしろ間仕切りを撤去したり。さらに、もっと自在に壁を動かしたら、間取りは変わるのです。

■「自在区」の特徴は、間仕切りと出入口が動かせること

- ・スチールなどの非磁性面を備えた天井にマグネットで固定できる間仕切りパネルを配置することで「可動性」を実現。このため、ライフスタイルや家族構成の変化に合わせて間仕切りや出入口を動かせば、1LDKから2LDK、3LDKへのご自身で間取りを自在に変えて、長く住まいを楽しむことができます。
- ・将来発生が見込まれる間取り変更も容易にできるので、中長期的に見ればリフォームに関わる手間とコストの低減が可能です。
- ・高齢化が進む中、一人でも容易に取り外しができる間仕切りは、使い手だけでなく、据え付ける職人などの負担軽減と工事の省力化、簡略化につながります。

■発想の転換から生まれた、動かせる新しい間仕切り技術

「間仕切り」の軽量化を図るとともに、機能とデザインを見直し、「使い手自らが間仕切りを容易に動かせること」を2つのテクノロジーで実現いたしました。

(1) 自社開発の建材用強化ダンボール構造を使用することで軽量化を実現

紙の種類、厚み、強度などを選別して組合せ、ダンボールテクノロジーを駆使し、特に建材用に一から開発したのがダンボール式構造体の KAMIITA です。木材にできない薄さと、反りにくく軽く強くしなやかな耐久性を備えた構造を実現しました。

(2) 間仕切りの可動力を実現

一室の大空間に非磁性面を備えた天井に間仕切りをマグネットで取付け、床と突っ張って固定します。これまで培った FUSUMA テクノロジーを駆使し、和の知恵を活かしつつ、新しいつづき間として柱も梁も必要とせずに間取りを自在に変えることを実現しました。

■商品と価格帯

一か所 1.5 間、天井高 2.4m の場合 30 万円～

■特許申請中

■「自在区」特設ページ



■株式会社ユナイトボードについて

旧社名は山田ダンフスマ株式会社で、名は体を表すとおり、ダンフスマ製造と提供を通じて新しいフスマブランドを確立した会社。高度成長期、団地やマンションを始めとして、大量の住宅供給を支える建築材の工業化の流れの中で仕切りの大半を占めた襖の工業化に着手。昭和 60 年に社名をユナイトボードに変え、これまで培ったダンボールテクノロジーと FUSUMA テクノロジーを活かして取扱い品目を開拓。現在に至る。

■会社概要

商号 : 株式会社ユナイトボード

所在地 : 東京都江戸川区中央 2 丁目 23-16

代表 : 代表取締役 坂本 恒太

事業内容: 建具・間仕切り部材等の製造・販売

URL : <http://www.uniteboard.com/>

当社ではマスコミの方のご取材を随時お受けしております。詳細情報をご提供させていただきますので、是非お問い合わせください。

■本件に関するお問い合わせ

株式会社ユナイトボード本社

〒132-0021 東京都江戸川区中央 2 丁目 23-16

担当 : 増田 裕幸、安田 壘

電話 : 03-3652-1241

メール : mail@unitebord.com